

マヤの「赤の女王」、奇跡の初来日。

マヤの代表的な都市国家パレンケの黄金時代を築いたパカル王(在位:615~683)の妃とされるのが、赤い辰砂に覆われて見つかった通称「赤の女王」(スペイン語で「レイナ・ロハ」)です。その墓の出土品を、メキシコ国内とアメリカ以外で初めて公開します。パカル王の息子と孫、ひ孫に関連する遺物もあわせ、200年にわたる王朝一族の物語を浮き彫りにします。



1994年4月11日、碑文の神殿に隣接した13号神殿(写真右)から発見。
©Secretaría de Cultura-INAH-MEX



出土状況
©Secretaría de Cultura-INAH-MEX

【関連イベント】

●記念講演会「マヤ文明—古代の遺骨が語り出す、バイオアーキオロジーとレイナ・ロハ—」

【日時】11月4日(土)午後2時~午後3時30分 【講師】鈴木真太郎氏(岡山大学 教授) 【会場】九州国立博物館 1階ミュージアムホール 【定員】270名 ※変更する場合があります。
※聴講無料、ただし本展観覧券(半券可)もしくはQRチケット画面の提示が必要。 ※記念講演会のみ事前申込が必要。事前申込締切:10月20日(金) 必着

●記念講演会 申し込み方法/往復はがき、もしくは申込専用サイトで受付。

郵便番号、住所、希望者全員の氏名(ふりがな)、電話番号、人数(1通につき最大2名まで受付可)を明記の上、下記宛にお申込みください。

【送り先】〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞イベントサービス 特別展「古代メキシコ」係

○往信用裏面/上記必要事項をご記入ください。返信用表面/郵便番号、住所、氏名をご記入ください。 ○2名で応募される場合は、それぞれの氏名を明記してください。

○応募多数の場合は抽選とさせていただきます。 ○当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。

○ご応募の際にいただいた個人情報、本イベントの連絡のみに使用させていただきます。

【記念講演会お問い合わせ】特別展「古代メキシコ」事務局(西日本新聞イベントサービス内) TEL 092-711-5491(平日午前9時30分~午後5時30分)

【申込サイト】

artne.jpのトップページ
https://artne.jp

もしくは
QRコードから



●リレー講座「もっと楽しもう! 特別展『古代メキシコ—マヤ、アステカ、テオティワカン』」

【日時】10月28日(土)午後2時~午後4時 【講師】河野一隆(東京国立博物館学芸研究部長)、小澤佳憲(九州国立博物館主任研究員)

【会場】九州国立博物館 1階ミュージアムホール 【定員】270名 ※変更する場合があります。

※聴講無料、ただし本展観覧券(半券可)もしくはQRチケット画面の提示が必要。 ※当日受付のため、事前申込不要。

他にも関連イベントを開催予定! 詳細は公式ホームページをご覧ください。



【観覧料】

一般 2,000円(1,800円)、高大生1,300円(1,100円)、小中生900円(700円)

※()内は前売料金/販売期間=8月4日(金)~10月2日(月)

前売券販売場所: ARTNEチケットオンライン、ローンチケット(コード:81488)、チケットぴあ(Pコード:686-524)、セブン-イレブン店頭マルチコピー、イープラス・ファミリーマート、天神定期券発売所(西鉄福岡駅・ソラリアステージビル1階)、九州国立博物館ミュージアムショップはかにて販売。

※上記料金で九州国立博物館4階「文化交流展(平常展)」もご覧いただけます。 ※障がい者等とその介護者1名は無料です。 展示室入口にて障害者手帳等(詳細はホームページをご確認ください)をご提示ください。 ※大学生以下の方は学生証や生徒手帳をご持参ください。 ※会期中のチケット購入には当日料金が適用されます。 ※チケット購入の際にプレイガイドによって各種手数料が発生する場合があります。 ※その他企画チケットについては観覧会公式サイトをご参照ください。

九州・山口のアート情報サイト「アルトネ」
ARTNE TICKET ONLINE

必ず事前にお買い求めいただける
オンラインチケットが便利です。
チケット購入はこちらから
https://artne.jp/tickets



【音声ガイド】

古代メキシコを巡る旅をご案内

メキシコ在住経験のある俳優・歌手の小白石萌音さんと、『ジョジョの奇妙な冒険』ジョセフ・ジョースター役でおなじみの声優杉田智和さんが、古代メキシコの世界をめぐる旅をナビゲートします。

●会場レンタル版/1台650円(税込)



小白石萌音さん 杉田智和さん

10月の毎週金・土曜日の夜間開館(午後5時以降)にご来場の方に
特典として、「赤の女王(レイナ・ロハ)」のお面をプレゼント!

※入館は午後7時30分まで。

※お一人様につき1枚、会期中の対象日でのみ会場にてお渡し。

各日先着
100名



【主催】九州国立博物館・福岡県、NHK福岡放送局、NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社

【共催】(公財)九州国立博物館振興財団 【協賛】NISSHA、大和ハウス工業 【特別協力】太宰府天満宮 【協力】アエロメヒコ航空

【後援】メキシコ大使館、福岡市、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会、太宰府市、太宰府市教育委員会、太宰府市商工会、(一社)太宰府観光協会

【企画協力】メキシコ文化省、メキシコ国立人類学歴史研究所

●展覧会公式Twitter.....@mexico2023_24

●九州国立博物館Twitter.....@kyuhaku_koho

●展覧会公式サイト.....https://mexico2023.exhibit.jp/

●九州国立博物館HP.....https://www.kyuhaku.jp



◎交通案内 最寄り駅:西鉄太宰府駅から徒歩約10分

●最寄り駅へのアクセス

西鉄電車.....西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で西鉄太宰府駅下車
※特急/急行料金不要

JR.....JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用

西鉄バス.....博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(約40分)

●車

九州自動車道.....太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分

タクシー利用.....JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

※駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。



九州国立博物館 [太宰府天満宮横] 福岡県太宰府市石坂4-7-2

【お問い合わせ】九州国立博物館 ハローダイヤル050-5542-8600(午前9時~午後8時/年中無休)

2023年10月3日(火) ↓ 12月10日(日)

Ancient Mexico

Maya, Aztec, and Teotihuacan

【開館時間】午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで) 毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館(入館は午後7時30分まで)
※夜間開館の実施については、九州国立博物館ホームページでご確認ください。
【休館日】月曜日(ただし、10月9日(月)祝日は開館、10月10日(火)は休館) 【会場】九州国立博物館 3階特別展示室



特別展
マヤ、アステカ、テオティワカン

古代メキシコ

九州国立博物館
太宰府天満宮横 福岡県太宰府市石坂四一七一二



会場内作品 撮影OK



古代メキシコの至宝約140件、一挙集結!

前15世紀から後16世紀のスペイン侵攻まで、3千年以上にわたり繁栄したメキシコの古代文明。本展では、そのうち「マヤ」「アステカ」「テオティワカン」という代表的な3つの文明に焦点をあて、多彩な出土品約140件を紹介します。火山の噴火や地震、干ばつなど厳しい自然環境のなか、人々は神を信仰し時に畏怖しながら、王と王妃の墓、大神殿、三大ピラミッドなど各文明を代表する壮大なモニュメントを築きました。普遍的な神と自然への祈り、そして多様な環境から生み出された独自の世界観と造形美を通して、古代メキシコ文明の奥深さと魅力に迫ります。



テオティワカン文明 太陽のピラミッド*1

マヤ文明 碑文の神殿(パカル王墓)*1

アステカ文明 テンプロ・マヨール(大神殿)*1

「太陽」「月」「羽毛の蛇」の三大ピラミッドを擁する巨大な計画都市を築いた
テオティワカン文明



死と再生を暗示する沈んだ太陽

死のディスク石彫
テオティワカン文明、300～550年
テオティワカン、太陽のピラミッド、太陽の広場出土
メキシコ国立人類学博物館蔵 *2

ピラミッドを飾った巨大な像



羽毛の蛇神石彫
テオティワカン文明、200～250年
テオティワカン、羽毛の蛇ピラミッド出土 テオティワカン考古学ゾーン蔵 *3



貝の装飾は湾岸交易の証

鳥形土器
テオティワカン文明、250～550年
テオティワカン、ラ・ベンティージャ出土
メキシコ国立人類学博物館蔵 *2

関連年表・地図

時代区分	先古典期	古典期	後古典期	スペイン植民地時代
メキシコ湾岸部	オルメカ 前1500～前400			
メキシコ中央高原	テオティワカン 前100～550	トルテカ 800～1150	アステカ 1150～1325	1521
マヤ地域	前1200～	マヤ 550～		1697

メソアメリカとは
16世紀のスペイン侵攻まで様々な古代文明が栄えた文化的領域で、その伝統が今も続いている。一般的にメキシコの大部分と中央アメリカのグアテマラ、ベリーズ、エルサルバドルおよびホンジュラス、ニカラグア、コスタリカの一部を指す。



メソアメリカ拡大図

マヤ文明

暦や文字など高度な知識を有する王や貴族が中心となつて、巧みに交易と戦争を繰り返り広げた



真っ赤な辰砂(水銀朱)に覆われて出土

赤の女王のマスク・冠・首飾り
マヤ文明、7世紀後半 バレンケ、13号神殿出土
アルベルト・ルス・ルイリエ バレンケ遺跡博物館蔵 *4

外交を象徴する
王の球技



トニナ石彫171
マヤ文明、727年頃 トニナ、アクロポリス、水の宮殿出土
メキシコ国立人類学博物館蔵 *2



神に捧げる供物の台

チャクモール像
マヤ文明、900～1100年
チチェン・イツァ、ツォンパントリ出土
ユカタン地方人類学博物館 カントン宮殿蔵 *1

マヤ世界に
生きた人々



(左から)球技をする人の土偶、戦士の土偶、支配者層の土偶、貴婦人の土偶、貴人の土偶
マヤ文明、600～950年 ハイナ出土 メキシコ国立人類学博物館蔵 *2

アステカ文明

首都テノチティトランを築き、軍事力と貢納制を背景に強国を拡大した



高さ170cmの精鋭戦士

鷲の戦士像
アステカ文明、1469～86年
テンプロ・マヨール、鷲の家出土
テンプロ・マヨール博物館蔵 *6



豊穣をもたらす雨の神

トラロク神の壺
アステカ文明、1440～69年 テンプロ・マヨール、埋納石室56出土 テンプロ・マヨール博物館蔵 *6



今なお続く発掘、近年出土の金製品

人々の心臓形ペンダント、b テスカトリポカ神とウイツイロポチトリ神の笏形飾り、c トラルテクトリ神形飾り、d 巻貝形ペンダント、e 鈴形ペンダント、f 耳飾り
アステカ文明、1486～1502年 テンプロ・マヨール、埋納石室174出土(a, b, c) *6・埋納石室125出土(d) *7・埋納石室167出土(e, f) *3 テンプロ・マヨール博物館蔵

*1 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX *2 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX. Archivo Digital de las Colecciones del Museo Nacional de Antropología. INAH-CANON *3 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX. Foto: Jorge Pérez de Lara Elias *4 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX. Foto: Michel Zabé *5 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX. Foto: Ignacio Guevara *6 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX. Museo del Templo Mayor *7 ©Secretaría de Cultura-INAH-MEX. Museo del Templo Mayor. Foto: Jesús López